

多治見高校自然科学コース トピックス

平成31年2月17日にヤマカまなびパークにてたじみ環境フェアが開催されました。このイベントに、自然科学コースの課題研究で環境に関する研究に取り組んだ班が参加しました。

ポスター展示部門では「外来種と在来種の食性の違いと環境への影響」、ステージ発表部門では「ゴキブリの行動パターン解析」の発表を行いました。ポスター展示、ステージともに、多くの市民の方が発表を聞きに来てくださりました。ありがとうございました。ゴキブリの研究は年度末まで継続し、3月17日に神戸市で開かれる日本生態学会で発表する予定です。

たじみ環境フェア2019
2.17日 9:30~15:00
ヤマカまなびパーク
多治見市 豊岡町11-55 TEL:0572-23-7022

広げよう! 自然とエコのまち 多治見
らながっぱち 来るよ!
らながっぱちの エコカレンダー プレゼント!

楽しい体験コーナー もいっぱい!

スタンプラリー&クイズで 景品をゲットしよう!

小中高生や市民団体が 環境活動について発表するよ!

川のこと、森のこと、生き物や 植物のことまで、環境のこと、 まるっと知っちゃおう!

小学生・中学生のみなさんの エコ作品・エコ研究が大集合!

主催 環境フェア実行委員会
町車庫がとも少ないため、来場には公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ 多治見市役所環境課 TEL:0572-22-1175

多治見高校
外来種と在来種の食性の違いと環境への影響
高知大学の調査員 吉田 英樹、佐藤 悠希、佐藤 拓也、佐藤 拓也、佐藤 拓也

【目的】 多治見市内の自然環境を守るため、外来種と在来種の食性の違いを調査し、環境への影響を明らかにする。

【方法】 多治見市内の自然環境を調査し、外来種と在来種の食性の違いを調査し、環境への影響を明らかにする。

【結果】 多治見市内の自然環境を調査し、外来種と在来種の食性の違いを調査し、環境への影響を明らかにする。

【内容物】

解剖の様子

【感想】

